

校長室だより

NO.19 平成30年2月15日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「雨水（うすい）」

2/19頃 正月中（睦月：むつき）太陽視黄経 330 度
陽気地上に発し、雪氷とけて雨水となれば也（暦便覧）

空から降るものが雪から雨に替わる頃、深く積もった雪も融け始める。春一番が吹き、九州南部ではうぐいすの鳴き声が聞こえ始める。

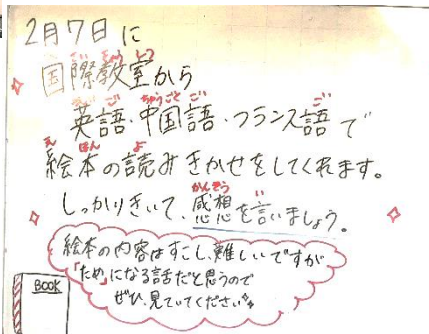
日照時間の変化を格段に感じるようになっていますが、まだまだ厳しい寒さを感じることも多い今日この頃です。

2月5日の音楽朝会では、1年生が手話を交えての合唱を披露してくれました。3学期に本校卒業生から手話を教えてもらい、歌詞の一部を手話で表現しました。耳の不自由な方ともコミュニケーションをとる、きっかけにもなるはずです。いろいろな人との出会いから、現在成長真っ只中。



給食交流や小学校体験で訪れた幼稚園や保育園の子どもたちに、1年生はひらがなの学習やランドセル体験を教えてくれました。5年生は、給食交流で来年小学校に入学する子どもたちのお世話に取り組みました。東小にはいる子どもたちとは、来年の兄弟学年がスタートしています。

国際教室のみんなとなかまが、絵本「ヘンリー・ブラウンの誕生日」の読み聞かせをしてくれました。小学生には難しい内容だったかもしれませんが、しっかり聞いて、感想も言ってく



れました。困難な状況の人に寄り添うことの大切さも感じ取ってくれました。

2月の中旬からは、各学年が最後の授業参観が行います。この1年の成長を見ていただきたいと思います。

6年生は卒業に向けて6年間のふりかきや2年生は郵便局の見学、3年生は障がい者スポーツ（ボッチャ）体験、4年生は学年劇、5年生はお米づくりでお世話になった方々との交流会に取り組んでいます。いろいろな体験から学びを深めています。

〈お詫び〉ナンバリングでNo.17が抜けてしまいました。申し訳ありません。

